



しらかし台小学校

# 校長室だより

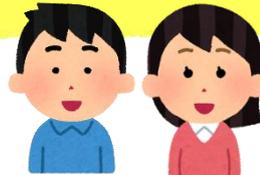
R3.6.30 (水)  
不定期発行

## 「ありがとう」について

しらかし台小学校に着任して、もう3か月がたちました。

私は、しらかし台小学校に来て、子どもたちによく言われるようになった言葉があります。それが、今日の見出しになっている「ありがとう」です。

「石拾いをしてくれて、ありがとうございます。」  
「草取りをしてくれて、ありがとうございます。」  
「インタビューに答えてくれて、ありがとうございます。」  
「玄関を開けてくれて、ありがとうございます。」  
「かぎを貸してくれて、ありがとうございます。」  
「ハンカチを拾ってくれて、ありがとうございます。」  
「プールを掃除してくれて、ありがとうございます。」



3か月で何十回、何十人に言われたでしょうか。毎回うれしくなりますが、私としては当然のことをしているだけなので、少し恥ずかしくなったりもしています。

「ありがとう」の語源は、形容詞の「有り難し(ありがたし)」。その連用形「有り難く(ありがたく)」がウ音便化したものだそうです。

意味は、「有ること」が「難しい(かたい)」なので、本来は「めったにない」「珍しくて貴重だ」という意味ですが、「めったにない貴重なものを自分は得ている」という意味になり、感謝を伝える言葉になりました。



言葉の意味を知ると、私が子どもたちから「ありがとう」と言われるのは、とてももったいないことのように思えてきます。そして逆に、「ありがとう」と言える子どもたちがたくさんいることの方が貴重で、私から子どもたちへ「ありがとう」という言葉を贈りたくもなります。

「ありがとう」と言えるすてきな心をもっているしらかし台小学校の皆さん、いつもありがとうございます。これから、学級でも、学年でも、全校でも、もっともって「ありがとう」の輪を広げていってください。